

トルコギキョウの10～12月出し栽培における夜冷・冷房育苗苗の利用法

〔要約〕 トルコギキョウの10～12月出し栽培には、早生～中生種が適する。冷房育苗苗の定植時期は、早生種は8月中旬、中生種は7月下旬に行う。一方、夜冷育苗苗を利用する場合は、定植時期を早めて早生種、中生種とも7月下旬頃に行うとよい。

園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室

連絡先

092-922-4111

部会名	園 芸	専 門	栽 培	対 象	花き類	分類	普及
-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----

〔背景・ねらい〕

トルコギキョウの早出し栽培には、夜冷育苗苗や冷房育苗苗が利用されるようになったが、育苗環境が異なる場合にロゼット株が多発したり、抽台・開花の遅延及び切り花品質の低下が発生している。そこで、異なる地域、条件で育苗した苗を相互交換し、周年供給体制を確立するため、佐賀県産の夜冷育苗苗と福岡県産の冷房育苗苗の生育開花反応を検討し、10～12月出し栽培への利用方法を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

- ①トルコギキョウの10～12月出し栽培には、ロゼット株の発生が少なく、抽台・開花の早い、早生～中性種を利用する（表1）。
- ②冷房育苗苗の定植は、早生種では7月下旬に行うと切花長が短くなり品質が低下するので8月中旬がよい。中生種では7月下旬に行うと抽台・開花株率が高く、採花時の切り花品質も優れる（表1）。
- ③夜冷育苗苗は冷房育苗苗に比較して、定植時期を早める必要があり、早生種、中生種とも定植は抽台・開花率の高い7月下旬に行う（表1）。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①トルコギキョウの切り花栽培地域において、適切な育苗条件で養成された夜冷・冷房育苗苗であれば、地域を問わず利用が可能である。
- ②夜冷・冷房育苗苗は、定植後に十分灌水を行って活着を早めるとともに、冷夏・長雨等の気象条件では定植後3週間を平均気温25℃以上に保って抽台の促進を図る。

[具体的データ]

表1 トルコギキョウの10~12月出し栽培における夜冷・冷房育苗
苗が抽台・開花及び切り花形質に及ぼす影響(平成4,5年)

品 種	定 植	苗 の	抽 台	開 花	平 均	切 花
	時 期	種 類	株 率	株 率	開 花 日	長
	月 日		%	%	月 日	cm
若	7・20	夜冷苗	100	100	10・22	56
		冷房苗	100	100	10・15	60
紫	8・18	夜冷苗	100	83	12・10	58
		冷房苗	100	100	11・28	65
	9・10	夜冷苗	100	23	(1・28)	(60)
		冷房苗	100	65	(1・4)	(65)
あ す か の 粧	7・20	夜冷苗	93	93	10・29	62
		冷房苗	100	93	10・22	65
	8・18	夜冷苗	100	13	(1・24)	(58)
		冷房苗	100	63	12・28	62
	9・10	夜冷苗	100	0	—	—
		冷房苗	100	20	(1・24)	(67)

注) ① 夜冷苗: 佐賀農研にて育成, 昼間70%シヤ光, 夜間10℃, 9週間

② 冷房苗: 福岡農総試育成, 昼間25℃, 夜間15℃, 8週間

③ (): 1月以降の開花株

④ 若紫(早生種), あすかの粧(中生種)

[その他]

研究課題名: 新作型の開発と実証

予算区分: 国庫(地域重要)

研究期間: 平成5年度(平成4~5年)

研究担当者: 小林泰生、谷川孝弘、坂井康弘

発表論文等: 平成3~5年度園芸研究所野菜花き部花き花木試験成績書